

## やまもも保育所・交通利用体験

やまもも保育所 川口 京子

12月26日(月)、年長児4名と茂原市の萩原交通公園に遠足へ行ってきました。電車やバスを乗り継いで、目的地まで出掛け帰って来るといふ、年長児しか体験できない特別な行事です。コロナ禍の影響もあり順延していましたが、今回無事に行くことができました。

この地域は都内と違い、移動手段は車が主なので、電車に乗ったことのない子どもが多いのです。今年の年長児は、4名中3名が電車未体験。なのでとても楽しみにしていて、カレンダーに書かれた「こうつうたいけん」の文字がある日まで、「あと〇日寝たら…」と指折り数えて楽しみにしていました。

当日は晴天。お留守番の子達に「行ってきます」と声をかけ、出発！

最初の交通手段はバス。業務スーパー前のバス停に向かいました。バスが来るまで時間があるので、あっちむいてホイや、しり取りで遊んで待っていると、突然Kちゃんがゲラゲラ笑い始めました。見ると、黒い軽自動車を指さして笑っています。今度はI君もアハハと大笑い。何かと思ったら、自動車に映り込む自分達の姿を見て笑っていたのですね。ボディが曲面になっているので、全員身長が縮んでみえるのです。まるで2、3歳の頃に戻ったように見え、「赤ちゃんになつたみたい〜」「若返ったねー」とゲラゲラ。

そうこうしているうちにバスが到着。普段お世話になっている病院バスとは違い、一般のお客さんも乗っています。こちらがマナー云々言う前に、子ども達は車内の空気を肌で感じて、静かに座っていました。さすが！

10分ほどで東金駅に到着。いよいよ憧れの電車とご対面。初めての切符購入を済ませて、自動改札を無事通過すると、間もなくして電車がやってきました。扉が開き、恐る恐る乗り込む子ども達。車内の様子を緊張した面持ちでうかがうBちゃん。発車のベルが鳴り、プシューっと扉が閉まる音にまずビックリ。そして「ガタン」と動き出した電車に、思わず「きゃっ！」と声をあげ、思わず手すりにしがみつくHちゃん。「動くと思わなかったー」そうです。走り出した電車の連結部を見つめるI君。「うわー…電車曲がってる…すげー」と静かに感動。それから、突然通過した特急列車に驚いたり、揺れの中立っている大人に驚いたり、レールがカーブしていることに驚いたり、まさに驚きの連続。

大人にとってはただの移動手段ですが、子ども達にとってはもはや、某ディズニーランドと同レベルのアトラクション。コスパ最高！



大網駅に到着して電車を乗り継ぎ、目的地のある新茂原駅に着きました。ここから徒歩15分の道のりもサクサク歩き、あっという間に萩原公園に到着。ここは交通公園の名の通り、信号機や踏切、道路標識があって遊びながら交通规则が学べる公園。

ここの白眉はなんといっても自転車やゴーカートを借りられるところでしょう。まずは全員、ゴーカートを借りました。ここからは路上教習の始まり始まり。キープレフト、車線はみ出し禁止、左折時には後方確認。右折時の直進車優先。踏切は一時停止！…って誰も聞きちゃいない。2分後にはみんな自由きままに走っておりました。

たくさん遊んだらお待ちかねのお弁当タイム。いつもなら午睡の時間なので皆お腹ぺっこぺこ。公園内に展示してある蒸気機関車を愛でつつ、美味しくいただきました。食後は公園内の遊具で遊んだ後、再び自転車などを借りて、サイクリング。大満足の交通公園でした。

帰りはまた同じルートを辿り、帰路へ。帰りのバスの中、「楽しかったね！交通体験。」「うん、楽しかったー！」と話す子ども達。ちなみにHちゃんが一番楽しかったのは、黒い車に映った自分の姿だそうです。え？そこ…？

とにもかくにも、交通体験も無事終わり、新年を迎えたら小学生に向けてのラストスパート。保育所での生活もあと少し、これからどんな成長を見せてくれるのか楽しみです。

